



第109号

発行

社会福祉法人恵風会・あざみ園・あざみ園保護者会

〒930-2102 富山市山田宿坊1-8 / TEL (076) 457-2301 / FAX (076) 457-2303  
http://www.knei.jp/~azamien/ E-mail azamien@knei.jp

新春



管理課長 坪島浩三

明けましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、よき新年をお迎  
えになられたことと存じます。

昨年は、長期天気予報とは、まったく裏腹  
に十二月初旬の保護者会研修会前日よりの寒  
波襲来で、山田の雪景色も「美しい」から「う  
ざい」に変わるのもあつという間でした。

振り返れば、あざみ園開設の冬、「スキーは？」  
と上司の○福主任に聞かれ「二回ほどは」と  
答えたら、勤務後それじゃと、気付いたら牛  
岳スキー場のリフトに乗せられていました。  
リフト降りたら、「まあ、がんばれや」の言葉  
と、私を残し当人は颯爽と滑って降りていき、  
私は、皆さんのご想像どおりの結末でした。(一  
本杉は見たくない。)

しかし、これを機に「がんばる」が身体に  
培われたのかもしれない。

私こと、あざみ園着任、早や一年を迎えよ  
うとしています。月日を重ねることに何と一  
年が経つのが早いのでしょうか。「その分、一  
日一日をもっと大切にしていかなければ」と  
痛感しております。

本年も、園長を始め、皆様のお力をお借り  
して「一日一日を大切に、当園発展のために  
職責を果たしたい所存であります。」ので、ご  
指導・ご協力をよろしくお願いいたします。

H26.11.23

# ゆめの森収穫祭

八尾ゆめの森ゆうゆう館敷地内、体験農園にてゆめの森収穫祭が行われ、たくさんの農作物や特産加工品が販売されました。あざみ園からはパンやクッキーを販売。Y・Yネットからは石焼き芋や浪江焼きそば、カフェにバザー、木工クラフト教室を行いました。寒い中たくさんのお客さんが来場され、大変賑やかな1日となりました。



H26.12.25

# もちつき

楽しみにしていたもちつき会。「よいしょ」の掛け声のもとみんなでおもちをつきました。杵を持ち上げるのは少し重たくて大変だったね。おもちをついた後は、あんこや、きなこをつけて美味しく食べました。これで2015年も元気に過ごすことが出来そうです。



H26.12.16

# クリスマス会

みんな待ちに待ったクリスマス会の開催です。おいしいクリスマス料理を堪能し、レクリエーション会のビンゴ大会では、数字を読み上げるにつれてどんどん盛り上がりました。ビンゴした方々おめでとうございます。職員発表では、かわいい踊りやおもしろい組体操でみんな本当にたくさん笑ったね？ 笑った後は、お待ちかねのサンタ登場にプレゼント！！今年は、2人のサンタが登場しました！みんなお目当ての物はゲットできましたか？

その後クリスマスケーキを食べ、賑やかな1日でした。





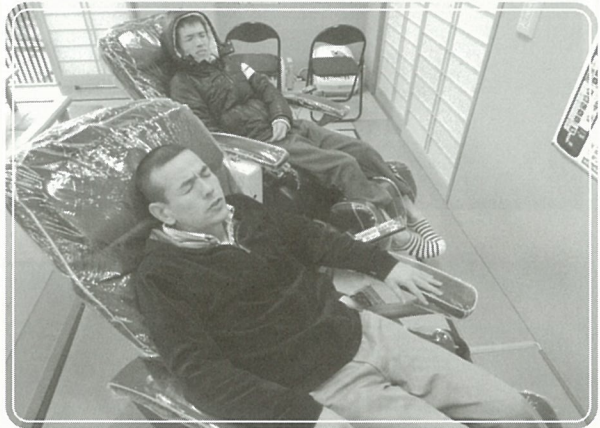
# ゆとりの時間



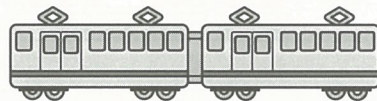
## 温泉

H26.12.4

ゆとりの時間でゆうゆう館へ出かけてきました。露天風呂で景色を楽しみながら温かい湯船に浸かり、心も身体もリフレッシュできました♪お風呂上りのジュースやアイスはいつも以上に美味しくて、思わず笑顔になってしまいました！普段体験できないマッサージチェアも、とっても気持ちよかった様子です♪



## 電車



H26.11.26

電車に乗って高岡に行こう～♪と題して、砺波駅から城端線を利用し、高岡駅に行きました。車内では、おやつを食べながら田園風景を眺めました。高岡駅到着後、新幹線開通ムードの高岡駅を堪能でき満足の1日でした。



# 自治会だより

H27.1.2

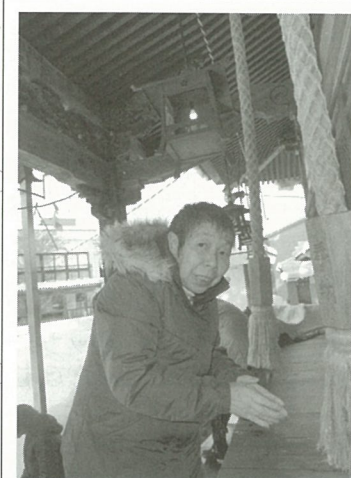
## 初詣・2015年



しあわせいっぱいな一年に☆

今年の元旦は雪で天候が悪かったので、2日に八尾町まで出掛けて参拝してきました。

とても天気が良く、綺麗な雪景色の中での初詣となりました。



今年も健康に過ごせますように！

H27.1.2



## 書き初め・未年

今年の干支にちなんだ漢字や、正月や季節らしい文字を考えながら書き初めをしました。



今年のはつじ年だね~(〇)



習字たのしいなあ♪



「雪」の字はバランスがむずかしいな！



## 行事のご案内

### 2月の行事

- ・ 1日…来園日
- ・ 17日…ゆとりの時間 (スイーツ食べ放題)

### 3月の行事

- ・ 1日…来園日
- ・ 5日…ゆとりの時間 (カラオケ)

### 4月の行事

- ・ 5日…来園日
- ・ 28日…チューリップフェア

平成三十六年度北日本放送社会福祉事業基金により  
寄贈していただきました。

目 録

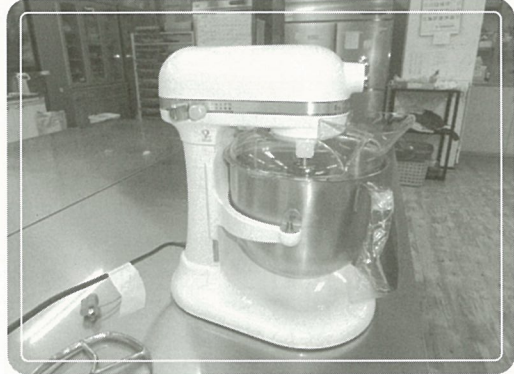
一 スタンドミキサー一台

右平成三十六年度北日本放送  
社会福祉事業基金により  
贈呈いたします

平成二十六年十二月二十二日

富山県知事

どんぐり工房殿



H26.10.25~26

「赤田ホーム」ニュース

旅行に行ってきましたよ!

今回の旅行は飛騨牛が食べたいというコンセプトの宿泊旅行でした。旧奥飛騨温泉口駅(がったんごー)にてトロッコに乗り季節を味わい、昼食はキッチン飛騨にてステーキを堪能しました。その後も高山市街を散策、飛騨牛のにぎり、ホテルでは飛騨牛コースを味わい、二日目は飛騨古川にて朴葉味噌の飛騨牛と皆さんお腹いっぱいな様子。帰りにはもう何も食べられないと話をしていました。



「羽根の家」ニュース

H26.11.24

昼食会 きつねうどん編



気温も肌寒い中、11時過ぎにC棟に集合して材料をきざみ、食器を洗い準備を行いました。今回はきつねうどんであり、ねぎを刻む人、かまぼこを切る人、うどんを袋から取り出す人、どんぶりを箱から取り出し洗う人、おにぎりを握る人、それぞれに分かれて昼食作りを行いました。うどんをゆでるのは職員が行い、やけどに注意しながらそれぞれ取り組みました。

比較的皆落ち着いて包丁を使い、丁寧にねぎやかまぼこを切っていました。出来上がったものから随時うどんを食べてもらい、食べた人はどんぶりを洗い次の人へと順番に食事を摂取してもらいました。アツアツのきつねうどんを「おいしい、油揚げがうまい」と言いながら食べており皆大満足の表情がうかがえました。

# 職員研修参加報告

## 射水福祉会 いみず苑 施設研修

支援課 福田 亨  
柳田 優

12月8日に富山県射水市にある射水福祉会 いみず苑へ職員研修に行ってきました。いみず苑は生活介護、就労移行支援、就労継続支援B型から成り立っており、療育創作班、受注作業Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ班、農園芸班、リサイクル班、食品加工班、就労支援班と8つの事業所に分かれています。今回は主に療育創作班、リサイクル班にて研修を行いました。

療育創作班では、主に音楽療法や簡易ストレッチなど行っていました。重度で且つ高齢であったり、身体に不自由があったりする利用者が主に在籍しておられ、1日を通して音楽療法や簡易ストレッチ、ウォーキングなどを行っていました。この療育創作班のみが作業賃金（本人支給金）があたらず、「仕事」とは分類されない活動班となっていることも特徴の一つでした。車椅子の方もおられ介護度も高い利用者の方々がいましたが、職員の方々

は目標設定（皆で30周歩く・スタンプリーなど）が上手で、利用者の方々のモチベーションを、やんわりと上げて軌道に乗せているのがとても印象的でした。また、希望者には足浴も提供しておられ、利用者さんの穏やかで安らいだ顔が、心のリラックスを物語っていました。

リサイクル班は主に空き缶の回収、圧縮した缶の搬入を行っていました。重度で且つ行動障害が重い利用者が主に在籍していました。1日の回収量は、なんと1.5トン！作業時間は午前中に1時間半、午後1時間半の計3時間。基本7名の職員で日々ローテーションを組んでいます。どの職員が入っても個々への支援の仕方が分かるよう活動内容、目標量、支援ポイントがまとめられた用紙が掲示されていました。利用者が頑張った作業が出来るような工夫もあり、1つ仕事が終わるごとに自分でパネルを設置（完成したら大好きなウルトラマンになる）や、今日の食事内容が書かれているパネルなどがありました。

いみず苑での作業活動に共通しているのは、日々行っている活

動に細かな目標設定をして、それを視覚化し、利用者の方々のやる気を助長してあげていることです。また、どの職員が支援に入っても、支援ポイントがまとめられ、安定した支援や補助ができることもとても良い点だと思いました。当り前のように感じるのですが、あざみ園でも、もつともつと力を注いで、作業のみならず、日々の生活の様々なところに、利用者の方の笑顔ややる気が増えるような支援提供に繋げていきたいと思えます。

## 日本海倶楽部 施設研修

支援課

若林 千春  
大森 理絵

11月13日に、石川県能登町にある日本海倶楽部へ研修に行きました。日本海倶楽部は生活介護事業の他、就労支援事業サービスとして弁当の製造配達・レストランやビール工場、馬やエミューの飼育を行なう牧場など約7箇所の事業が展開されています。

今回の研修では、生活介護の方を中心とした日中活動「アクトクラブ」でフットバス・読み聞かせ・買い物便に参加しました。読み聞かせでは、外部講師を呼び紙芝居や絵本を利用し、沢山の時間をか

けて行なわれていました。講師の優しい声を聴きながらゆったりと過ごすことで、利用者の気持ちが悪くなり、癒される時間が提供されています。買い物便では、利用者約5名に職員2名の小グループで、近くのコンビニやドラッグストアへおやつを買いに行くといい余暇支援が行われていました。利用者一人ひとりに職員が付き添うことで、ゆつくりと自分の好きなものを選び、利用者は嬉しそうに買い物を楽しむことが出来ていました。そのような1対1にこだわったきめの細かい余暇支援を行なうことにより、利用者の精神の安定や癒しに繋がっているように感じられました。

就労支援においても、内容が多様化していることで利用者の選ぶ余地が無く仕事が決まってしまうのではなく、個人に適したやりがいの感じることに出来る仕事が見つけやすく、選ぶ自由があるように感じられました。日本海倶楽部では、楽しみや生きがい、やすらぎとゆとりを持って生活出来るような工夫が様々な場面で考えられています。研修を通し、普段の自分達の支援を見つめ直し、利用者が楽しみや生きがいを持てるような個人に適した支援を考えていかなければならないと感じました。研修で学んだことを実践し、利用者の笑顔の増えるような支援提供に繋げていきたいと思えます。

# 保護者会コーナー

## 第1回全国手をつなぐ 育成会連合会島根大会

平成26年9月27日(土)  
～28日(日)

あざみ園保護者 安川 清一

第1回全国手をつなぐ育成会連合会の、祈念すべき第1回島根大会に参加しました。5分科会のテーマは次の通りです。

### 第1分科会

- 育つ・学ぶ(療養・教育)
- 『教育と福祉の連携』
- ・在学中から卒業後の支援(支援のバトンタッチ)
- ・就学期から地域とつながるための育成会活動

### 第2分科会

- 働く(就労支援・雇用)
- 『障害がある人の多様な働き方を考える』
- ・働く＝自己実現というところから
- ・障害という個性を生かす働き方

### 第3分科会

- 暮らす(地域生活支援)
- 『暮らすをよくなる相談支援事業』

- ・相談支援事業の現状と課題
- ・相談支援事業に期待するもの

### 第4分科会

- 老いる(高齢化)
- 『高齢になっても安心して暮らせる環境とは』
- ・障害者支援施設における高齢化への対応
- ・本人の生活を支えるのはだれ?
- ・「親のつとめ」から「社会のつとめ」へ

### 第5分科会

- 権利擁護
- 『障害者権利条約から育成会活動を考える』
- ・虐待を「しない」・「されない」ための育成会活動
- ・成年後見制度の利用促進のための育成会活動

参加した第3分科会の「暮らす」のテーマについて、入所の障害のある子の親として、あざみ園でも進めているサービス等利用計画作成の課題などを聞きました。

基調講演は、滋賀県社会福祉法人グロリーの大平眞太郎さんの「暮らす」をよくなる『相談支援事業』と題して、相談支援の現状と課題・

期待するものについて、社会福祉法人グロリーの事業内容や滋賀県の障害者支援事業の成り立ちと相談支援事業が果たすべき役割は、本人・家族の思いをもとに、アセスメント(何に困っているのか?、どう支援して欲しいのか、どんな生活がしたいのか? ↓明らかにする)やモニタリングを通しての、支援の流れを説明された。

シンポジウムは、厚労省障害福祉課相談支援専門官の鈴木智敦さんが「日本における障害者ケアマネジメント(利用者の置かれている状況と利用者の持っている力を見極めて、少しでも豊かな日々を暮らしていくには、何が必要であり、その必要なものを誰がどのように提供するかを提案し調整)の経緯」「障害者ケアガイドライン」や国から自治体に提示している「障害者の相談支援体形型」(見直し前後の違い)などサービス等利用計画作成の基本を聞きました。支給決定プロセスを見直し、サービス等利用計画を支給決定前に作成する。

さらに、対象者を「個別給付利用者の全員」へ拡大、2015年4月からは必須(それまでは経過措置)となり、あざみ園でも現在準備しているものです。

又村あおいさんは「サービス等利用計画の必要性」として2015年3月問題について「気になっている

ところ」として問題点・疑問点を提起して説明された。

「サービス等利用計画の必要性」は複数の障害福祉サービスを組み合わせ使用可能性があるため、本人に適したマッチングやコーディネートが必要である。又なせ、サービス等利用計画は市町村の支給決定「前」に案を作成するのか、ここに重要性があるとのこと。支給決定ということは、本人や家族との信頼関係を構築した上で、年齢に応じた困り感や将来希望する暮らし(つまりライフプラン)を一緒に考える。

今回の全国大会で障害のある人の生活は、国の法律等でその都度変化(金銭的にも)することはあっても障害者本人の意思が尊重されている事が一番重要と感じました。

## つ★ら★ム



### 目が

- 見える世界
- 見えない世界
- 二ヶ月間 暗闇で過ごし
- 身にしみ 体験した
- 人の輪のありがたさ
- 本人・あざみ園職員・親
- 医者・看護婦さん達
- 連携プレーで得たこの人生を
- 大切に生きよう

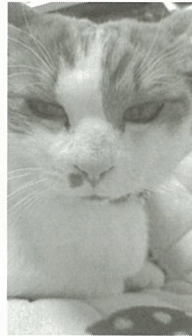
武夫

# 職員のスーヅ

## 私のすきなこと

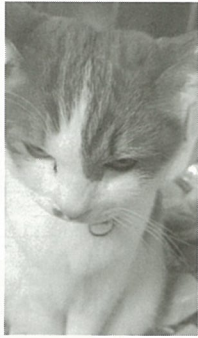
斉藤 明美 調理員編

私の好きな事ではないの  
かもしれないのですが、私  
は猫が大好きなので、この  
機会に愛猫の紹介を少しし  
たいと思います。



私の家に来て五年目にな  
ります。名前はレオです、  
と言っても女の子です。実  
は男の子が欲しかったので  
すが、間違って女の子が来  
てしまいました。私達家族  
は全然知らずすぐにレオと  
付けました。一週間ぐらい  
してからだと思えます。女  
の子だとわかりました。

その頃には名前を呼んだ  
ら振り向くくらいになっ  
ていたので、名前は変えませ  
んでした。そのせいか性格  
はまるで男の子、私達家族  
内ではハンターレオと呼ん  
でいます。でもそんなレオ  
は、私の一番の癒しです。



他にも色々あるのですが、  
もう一つ書くとしたら、時々  
なのですが、私の腕や足、  
ぶよ腹等を手でふみふみし  
てマツサージしてくれます。  
これは何とも言えない癒し  
ですね。



次回は荒屋 支援員編です。お楽しみに!!

## あぞみ園へ来園された皆さん

(平成26年11月～平成27年1月)(敬称略)

- ・JA山田 代表理事組合長 若林正幸 他2名
- ・鈴木一級建築事務所 代表取締役 金山泰夫
- ・宮田自動車工業 代表取締役 宮田保範 他1名
- ・北陸パロン美装 山本 巧
- ・富山地鉄サービス 田中俊之
- ・北陸コンピュータサービス 部長 藤田 学 他1名
- ・北陸通信工業 参与 有澤健一
- ・日本海建興 部長 山本 匡
- ・大栄印刷 常務取締役 井上秀樹

## 善意の心

ありがとうございます

(平成26年11月～平成27年1月)(敬称略)

- ・本多重治
- ・松井真理子
- ・田中清美
- ・中村しづ江
- ・JA山田
- ・富山県善意銀行
- ・北日本放送社会福祉事業基金
- ・富山県共同募金会

## 表彰

10月24日  
功績が認められ保護者会会長 服部隆則  
さんが富山市より表彰されました。

## ボランティアありがとうございます

(平成26年11月～平成27年1月)(敬称略)

- ・関 由美子 (食品加工)
- ・道下 和美 (音楽療法)
- ・中野 裕子 (音楽療法)
- ・山本 明美 (アクアクラブ)
- ・大瀬 春江 (手工芸クラブ)
- ・石田すみ子 (手工芸クラブ)
- ・谷井美智子 (手工芸クラブ、食品加工)
- ・日赤奉仕団 (シーツ交換)
- ・清水 純子 (どんぐり工房)

## 実習生

・総合カレッジSEO富山校  
平成26年10月22日～10月24日

## 赤ちゃん誕生

12月27日  
柳田支援員に、長女 紗来(さら)ちゃん  
誕生

## お悔み

松井 芳辰さん  
謹んでお悔やみ申し上げます

## 編集後記

まだまだ寒いですね...  
雪かきの終わりが見えません。  
暖冬はどこに行ったのやらですね。

